

教科	科目	学年	単位数
保健体育	体育	高2	2

1. 学習目標

- ・健康・安全や運動についての理解と合理的な実践を通して、生涯に渡って計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
- ・体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2. 評価の観点

知識・技能に関しては、春と秋に行われる新体力テストの結果をそれぞれ1学期、2学期の評価に加味し、各種目の技能テスト、集団行動、ラジオ体操などを総合的に評価する。

思考・判断・表現は、毎時間の授業レポート、新体力テストの振り返り、グループ評価、体育分野の小テストなどを評価する。主体的に学習に取り組む姿勢は、毎時間の授業レポート、新体力テストの振り返り、グループ評価、授業に取り組む姿勢や仲間との協調性を総合的に評価する。

学習内容（以下参照）

3. その他(科目の特徴や学習の注意点など)

体づくり運動・集団行動・体育理論においては年間を通じて行うものとする。種目・内容は下記種目より選択して実施することを基本とするが、設備の都合上学年の内容や時期を替えて実施することがある。

	単元・試験	授業内容	その他(到達目標・学習のポイントなど)
器械運動	マット運動Ⅱ スピード感がありスムーズな回転とゆがみのない演技を評価。	ハンドスプリング側転 前方・後方ブリッジ (選択)	・技をきれいに、正確に演技する。 ・お互いに協力して補助をする。 ・スピードのある演技をする。 ・スムーズでゆがみのない演技をする。
器械運動	跳び箱Ⅱ 高さ・きれいさ・着地を評価する。	台上前転 腕立て前方転回 (選択)	・高く、きれいに跳ぶ。 ・着地まで安全に跳ぶ。 ・互いに協力して補助をする。
陸上	走運動 記録の向上を評価する。	障害走(60m ハードル走) 100M 走	・正しいフォームを身につける。 ・利き足をそろえた走りを身につける。 ・100mを走りきる技術・能力を身につける。
球技	バスケットボールⅡ 実戦形式での正確なドリブル・パス・シュートを評価する。	・ボールのレシーブ ・ピボット、ターン ・ミドルシュート ・1対1、2対2、3対3の攻防	・正確なキャッチ、ピボット、ターン、ストップを身につける。 ・ジャンプ及びセットシュートを身につける。 ・抜くドリブル、パスを身につける。 ・連携プレーを身につける。
球技	ハンドボールⅠ 正確なドリブル・パス・シュートを評価	・パス・キャッチの技術 ・シュートの基本 ・ゴールキーピング ・簡易ゲーム	・パス、キャッチの重要性を理解し、基本動作を身につける。 ・キャッチからパスをスムーズにする。 ・シュートの種類を理解し、パスを繋ぐシュートができる。

球技	サッカーⅡ 強くて正確なコントロールができるキックまたは、シュートを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールコントロール ・キック ・パス ・ヘディング ・シュート ・1対1と2対2の攻防 ・発展的なゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・「蹴る、止める、運ぶ」の基本技術を身につける。 ・攻守にわたっての1対1と2対2を通じて基本戦術を理解する。 ・「ゴールを守り、ゴールを奪う」中で、個人として積極的に「意図的に」プレーする。
球技	バレーボールⅡ 正確なアタック・ブロックの技術を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技能の応用 アタッカーへのトスサーブレシーブ ・アタックレシーブ ・アタックの基本技能 ・ブロック ・発展的なゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃へとボールを繋げていくために有効となるパスの技術を高める。 ・相手コートから入ってくるいろいろなボールを確実に上げる。 ・アタックやブロックの目的や動きを理解し、身につける。 ・ボールをネットより高い位置で捕らえて相手のコートに返す。 ・3段攻撃ができることを目指す。
球技	テニスⅡ 正しい打点・グリップによるボールコントロールを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ストロークの確認打ち方 ・サービス ・ミニゲーム (サービスコート・ハーフコート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・素振り・正しい打点で打つ・ショートラリーができるようにする。 ・フラット・トップスピン・スライスを打ち分ける。 ・プッシュサーブ・フラットサービスを身につける。
球技	卓球 打ち分けを正確に行なうことを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・バックスピン)練習 ・トップスピン練習:少し離れたところで ・スマッシュ ・簡易ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち方によってラケット面の使い方が違うことを理解し、使い分けをする。 ・打ち方を決め同じ条件でゲームを行う。
球技	バドミントン フライトの打ち分けを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・フライト (スマッシュ・ドライブ・プッシュ・ヘアピン・ハイクリアー・ドロップ) ・サービスとスマッシュ ・ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラケット面の使い方や打つ時の体重移動を意識して体全体を使って打つ。 ・スマッシュを打つ。 ・スマッシュをハイクリアーで返す。
球技	ソフトボールⅡ 打球を捕り、正確に送球することを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本動作の応用 ・トスバッティングと守備 ・ティーバッティングと守備 ・簡易ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジションの役割を理解しプレーする。 ・バットコントロールを身につける。 ・打球を捕り、正確に送球する。 ・ボールの捉え方を身につける。 ・強く遠くに飛ばす技術を身につける。 ・勢いある打球を処理し、正確に送球する。